

輸出事業計画

申請者名：EKD商事株式会社

品目：菓子

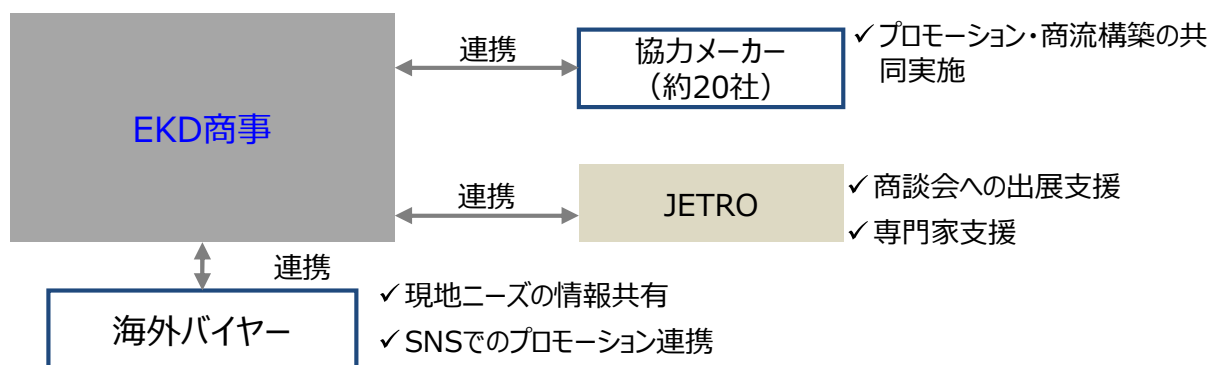
1. 輸出における現状と課題

- 菓子輸出の主な輸出先は、中国、香港、台湾。
- 各国のニーズや規制に沿った商品開発ができていないため、各国に即した商品開発が求められる。また、オリジナルPB商品の市場認知度がまだ低く、他社商品と比較して類似競合競争で劣後してしまうことがあり、差別化が求められている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 今後も中国、香港、台湾をターゲットとして、日本産原材料を使用し顧客ニーズに沿った新商品を開発
- 顧客ニーズのほか、海外の既存取引バイヤーからの意見も取り入れ、商品パッケージデザイン、外装フィルムや段ボールの版型、ギフト商品パッケージ用リボンを作成し、見た目の好感度や購買意欲アップおよび競合他社との差別化を推進
- SNS（Facebook、WeChat等）連携により、海外からのコンタクトに迅速に対応できる体制を構築
- 協力メーカーと連携して、展示会でオリジナルPB商品のPR・販促活動を行うことにより競争力を強化し輸出を拡大

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- P：当社グループおよび協力メーカーと連携し、中国、香港、台湾から引き合いが多いお菓子について、顧客ニーズに沿った新商品を開発するための計画を策定
- D：自社HPのリニューアルを実施し、SNSと連携して海外からのコンタクトに迅速に対応できる体制を構築。展示会や商談会における販促活動を実施
- C：中国、香港、台湾の企画及び営業チームで、月一回ペースでミーティングを実施。進捗状況の確認・情報共有を実施
- A：統括責任者を中心に企画及び営業チーム全員で協議し、課題解決に取り組む

輸出事業計画

申請者名：EKD商事株式会社

品目：菓子

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和4年度)	【目標】 (令和7年度)
輸出額	29億円	36億円
主な輸出先	中国、香港、台湾	中国、香港、台湾